

■寺島宗則(松木弘安) 外交官、政治家。幕末に西洋科学を身につけ、2度渡英した体験から、近代日本の外交を確立した。

てらしむねのり

鼠小僧磔・・・1832＝ 薩摩藩出水郷士の次男に生まれる。

・・・・・・・1836＝ 4歳：伯父で藩医だった松木宗保の嗣養子となる。

大塩平八郎乱1837＝ 5歳：天然痘に罹る。

蛸社の獄・・・1839＝ 7歳：養一家で長崎に転居、塾に通うかたわら蘭語を学び、

天保改革始・1841＝ 9歳：

順天堂始・・・1843＝11歳：帰藩、

天保改革終・1844＝12歳：藩校{造士館}に入学、かたわら剣術・馬術を習い、

阿部正弘首座1845＝13歳：家督を相続。

孝明天皇・・・1846＝14歳：_藩命で江戸に遊学、戸塚静海の塾に入って蘭学を修め、また、洋学に親しむ。

国定忠治磔・1850＝18歳：

尊徳報徳論・1851＝19歳：_古賀謹堂に漢学を、伊東玄朴の{象先堂}に実践的な蘭学を学ぶ一方、島津斉興の広敷医を命じられた。

ペリー来航・1853＝21歳：藩主・島津斉彬の入部に従って鹿児島に帰り、和訳や科学実験に従事、

開国開港・・・1854＝22歳：_斉彬に従って江戸に戻り、{象先堂}の塾頭になり、かたわら蒸気機関の研究に取り組み、

安政大地震・1855＝23歳：実父が死去、大地震で塾舎が焼失、

松下村塾・・・1856＝24歳：養母も死去。_幕府の蕃書調所出役教授手伝に任じられ、

蕃書調所・・・1857＝25歳：_斉彬の侍医になる一方、ガス灯の試作や電信機の実験に成功、

五ヶ国条約・1858＝26歳：_鹿児島で来航した咸臨丸の応接を務めた後、斉彬が急死して、斉興の侍医に転じ、

安政の大獄・1859＝27歳：_許されて江戸に出て蕃書調所出役教授手伝に復職、横浜の幕府運上所に勤務したのを機に英語を学習し、

桜田門外変・1860＝28歳：

遣欧使節・・・1861＝29歳：結婚。_福沢諭吉らと遣欧使節に随行して渡英、ロンドンに滞在して、大いに欧米事情について学び、

生麦事件・・・1862＝30歳：

8月18日政変 1863＝31歳：_帰国。
_命じられて帰藩したが、船奉行として蒸気船管理に当たるうち、薩英戦争で五代友厚とともに捕虜となり、横浜で釈放され、熊谷に潜居、松木弘安と変称して幕府に仕え、

禁門の変・・・1864＝32歳：_帰藩を許され、

薩摩藩士密航1865＝33歳：_藩の英国派遣団の一員となって、五代友厚らと渡英、英外相らと会談して、

薩長同盟・・・1866＝34歳：_帰藩、鹿児島を訪問した英公使パークスの接待役を務め、江戸との間を往来してイギリス外交官と接触、

大政奉還・・・1867＝35歳：_開成所教授に任じられるが、

明治維新・・・1868＝36歳：<鳥羽・伏見の戦>にも関わり、*<明治維新>が成ると、新政府参与外国事務掛を命ぜられ、以後外交官として活躍。日西・日独通商条約調印の際全権に加わる。

戊辰戦争終・1869＝37歳：_外務大輔に任ぜられ、次々と職務をこなし、咯血病臥などもするうち、

学問のすすめ1872＝40歳：_岩倉具視大使欧米派遣の際、大久保利通らが帰国後再渡米したのに同行、渡英して駐英大弁務使を務め、

明治6年政変 1873＝41歳：*帰国して外務卿となる。マリアルス号事件、

初の民間工場1875＝43歳：_樺太・千島交換条約などを処理し、

三つの反乱・1876＝44歳：_吉田・エヴァーツ条約の調印に成功し、対米関税自主権を回収することになったが、他国の反対が強く、実施されるには至らず、

西南戦争・・・1877＝45歳：

琉球処分・・・1879＝47歳：*辞任。

文部卿、法制局長、元老院議長などをへて、

明治14年政変1881＝49歳：

新体詩抄・・・1882＝50歳：駐米公使として赴任。

秩父事件・・・1884＝52歳：宮内省出仕を命ぜられ、伯爵となる。

内閣発足・・・1885＝53歳：宮中顧問官、

帝国大学始・1886＝54歳：枢密顧問官、

帝国憲法発布1889＝57歳：

足尾鉍毒始・1891＝59歳：同副議長に任ぜられた。

郡司千島探検1893＝61歳：_没した。